

<4年生の皆さんへ>

卒業論文について

卒業論文は必修科目です。卒業論文は、専門演習だけでなく、個別指導に基づいて作成します。具体的には、学術論文の体裁や約束事、選んだ研究領域についての基礎的知識、各種研究方法や資料収集の方法などの習得からはじめ、個別相談を重ねながら、論文のテーマと構成を確定します。執筆に取りかかっている間は、随時進捗状況の報告を行い、提出された草稿に手直しを加えながら完成度を高めていきます。

(以下の内容は「履修の手引き」P54, 55にも掲載しています。)

<作成要領>

1. 内容、分量および書式等について

- (1) 現代福祉学部らしいさまざまな卒論作成スタイル、手法、内容を許容します。
- (2) 文字数は12,000～20,000字をめどとします。原則としてワープロ（パソコン）を使用、A4版（1ページは40字×30行＝1200字程度）横書きとします。なお、本人控えとして1部をかならず保管しておいてください。
- (3) フォントは明朝またはゴシック体を使用し、10.5ポイント程度標準とします。論文題目や章・節題名は少し大きめのフォントを使用します。印字は黒を原則としますが、図表等はカラーを使用してもかまいません。
- (4) 各ページには中央下部にページ番号をつけます。
- (5) 余白：上下30ミリ、右は25ミリ、左は35ミリ（綴じ代を含む）程度の余白をとります。

2. 他人の作品・論文・文章などの引用について


- (1) 字句または説を盗み取って、自分のものとして発表することは剽窃行為となり、不正行為として厳正に処分されます。他人の論文・書物あるいはHP等から文章（またはその内容）や図表を引用して論文の一部を構成するときには、引用していることや出所を必ず明記する必要があります。本文中に引用であることを明記した上で、引用文献の一覧を作成し論文の巻末等に掲載してください。
- (2) 引用文献一覧は、通常、著者名のアルファベット順（日本人が著者の場合は、苗字のローマ字の一字目）に記載することが一般的です。ただし、研究領域ごとに書式等がことなる場合がありますので、各領域の代表的な研究雑誌等を指導教員に紹介していただき参考にするなど、指導教員の指導を受けてください。

- (3) 脚注を使用する場合は各章ごとにまとめて書くか、あるいは巻末にすべての注をまとめて書いてください。文章中には、例えば、(発達障害支援法¹⁾)のように上付けで挿入してください。


3. 表紙について

卒業論文には指定された表紙（大学生協購買部（総合棟地下1階）で販売）を使用してください。なお、指導教員から別途指示がある場合には、それに従ってください。

[卒業論文表紙・背表紙見本]

	
年度 _____	
卒 業 論 文	
提出教員 _____	先生 _____
学籍 _____	_____
法政大学現代福祉学部	
〒 _____ 番 _____ 号	
氏名 _____	

(A4-S)


年度 _____
提出教員 _____
先生 _____
学籍 _____
法政大学現代福祉学部
〒 _____ 番 _____ 号

4. 提出要領について

- (1) **提出期日**：各ゼミの専門演習Ⅲの最終授業日までに提出してください。提出期限は厳守してください。
- (2) **提出先**：各指導教員へ直接提出してください。

2014年11月12日
現代福祉学部事務課